

議事録 東海村男女共同参画推進委員会（令和3年度第1回）

1 日時

令和3年6月23日（水） 18:30~20:30

2 場所

東海村役場 行政棟3階 庁議室

3 出席者

(1) 東海村男女共同参画推進委員会委員

	氏名	出欠		氏名	出欠
1	鎌田 まり	○	6	高橋 琢	○
2	戸部 万亀子	○	7	田川 大輔	×
3	渡部 晃子	○	8	茂木 智子	×
4	北野 千恵子	○	9	小室 義輝	○
5	佐藤 高雅	×	10	鈴木 さちよ	○

(2) 事務局（東海村企画総務部秘書広報課）

企画総務部 部長 富田 浩文
秘書広報課 課長 高橋 毅
課長補佐 安 美穂
主事 横須賀 学

4 議事

(1) 委員長及び副委員長選出

① 内容

委員の互選により、委員長及び副委員長を決定する。

② 結果

委員長は高橋委員、副委員長は茂木委員を事務局案として提案し選任した。

(2) 第5次東海村男女共同参画行動計画について

① 内容

第5次行動計画の概要について事務局から説明。

(3) 成果指標達成へ向けた各課の取組目標について

① 内容

議事の(3)について、事務局から説明を行い、質疑応答・意見交換等協議する。

② 結果

委員からの意見を参考として、令和3年度の事業を実施する。

③ 主な意見

- えるぼし認定について、企業として労働局のセミナーに参加したことがあるが、認定のハードルが高く手間もかかり、女性採用のPRとしてもメリットがあると思うが、それ程とは言えない。法人税の減税対象になるなど、よりメリットが欲しい。
- 近年のデジタル化は進行が著しく速く、産休・育休中の女性職員が復帰する時には休暇前と大きく変化してしまっている。産休・育休から復帰する女性職員へDX（デジタル・トランスフォーメーション）に関する研修会などのサポートが必要なのでは。
- 男女共同参画推進事業所について、年度内に2社の認定を目標としているが、より多く認定しても問題ないのでは。
- 男女共同参画推進事業所の募集は日本原子力研究開発機構（JAEA）やその関連会社が村内に多数所在しているため、声をかけてみてはどうか。
- 男女共同参画を普及啓発する目標が多いが、えるぼし・くるみん認定についての講座の実施や相談窓口を紹介するなどやり方をもう少し検討したい。
- 男女共同参画推進事業所の活用として、DV相談窓口のリーフレットを配るなど取組を連動してはどうか。また、あわせて商工会、ライオンズクラブも活用してはどうか。
- 他の市町村ではロータリークラブやライオンズクラブの会合で各首長が行政の取組をPRしトップセールスを行っているので、村でも同様の取組を行ってみてはどうか。

(4) 年間スケジュールについて

① 内容

議事の(4)について、事務局から説明を行い、質疑応答・意見交換等協議を行った。

② 結果

一同了承

(5) 東海村男女共同参画推進事業所の募集について

① 内容

議事の(5)について、事務局から説明を行い、質疑応答・意見交換等協議を行った。

② 主な意見

- 「いずれか」の項目を満たせば認定される現在の認定基準は、認定のハードルが低く、認定事業所の「特別感」があまり感じられない。
- 「何項目満たした場合に認定される」等、ハードルを高くしてもよいのではないか。
- えるぼし・くるみん認定とは違った、男女共同参画のきっかけづくりとなる低いハードルのものとしていいのでは。

- 認定基準についても広く公開し、情報発信してみてもどうか。
- 記念品の贈呈も良いが、社員へのサポート制度なども検討してはどうか。

(6) その他

① 内容

東海村女性活躍推進のための標語の廃止について

③ 結果

標語を廃止し、第5次計画に基づき新しい取り組みへシフトしていく。

② 主な意見

- 標語の代わりとなる学校の取り組みに関して具体性を知りたい。
- 標語をカルタにしてみるなど、児童生徒に親しみを持ってくれる取り組みはどうか。
- 表彰されることは子供たちの目標にもなるため、継続しても良いのでは。

5 次回開催

令和3年8月を予定しているが、男女共同参画推進事業所の募集状況などに応じて開催時期を調整する。